

令和元年度(平成30年度実績) 総合評価書 <施設名 笠原児童館・地域子育て支援拠点親子ひろば>

1 指定管理者名	特定非営利活動法人ワーカーズコープ
2 指定期間	平成27年4月1日 ~ 令和2年3月31日
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関する事。 2 児童館の維持管理に関する事。 3 目的外使用許可にかかる事務に関する事。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関する事。 5 事業評価に関する事。

4. 採点表		評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1	運営・利用状況 (40点)	(1)利用状況 (10点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値 (例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によるものが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00~18:00)自由来館となっている。	6点
			②利用人数			平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によるものが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値 ※今回は指定管理4年目の評価のため、上記(2)を適用し、27年度~29年度の平均利用人数で30年度の利用人数を割ることで平均値比を求める。 $87\% = \text{利用人数(延べ人数11,772人)} \div 13,532人$ 【笠原児童館】 $87\% = \text{利用人数(延べ人数7,987人)} \div 9,177人$ 【親子ひろば】 $87\% = \text{利用人数(延べ人数3,785人)} \div 4,354人$	【笠原児童館】 ・地域イベント参加や近隣施設訪問、小学校でのPRや地域へのポスター掲示依頼等を積極的に行い認知度はあがっている。校区が広いため車の送迎がないと来館が難しい。小学生クラブの内容を見直し、中学校への働きかけを積極的に行い、参加する児童、生徒が増え来館者数増に繋がっている。 【親子ひろば】 地域性を意識し地域と繋がる事が継続的利用者の増加に繋がっている。その事から、第二子の出産後の利用や、参加困難な父親事業に繋がっている。 【30年度】 <笠原児童館> 来館者数 7,987人 乳幼児:2,937人 小学生:1,850人 中高生:135人 大人:3,065人 <親子ひろば> 来館者数 3,785人 乳幼児:2,020人 大人:1,765人 【29年度】 <笠原児童館> 来館者数 8,882人 乳幼児:3,535人 小学生:1,516人 中高生:122人 大人:3,709人 <親子ひろば> 来館者数 4,837人 乳幼児:2,418人 大人:2,419人 【28年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,317人 乳幼児:3,640人 小学生:2,140人 中高生:157人 大人:3,380人 <親子ひろば> 来館者数 4,173人 乳幼児:2,079人 大人:2,094人 【27年度】 <笠原児童館> 来館者数 9,333人 乳幼児:3,585人 小学生:2,089人 中高生:189人 大人:3,470人 <親子ひろば> 来館者数 4,053人 乳幼児:1,955人 大人:2,098人	

				<p>＜児童館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計47回開催、延べ915名参加) ・児童を対象とした事業(計57回開催、延べ628名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計32回開催、延べ1108名参加)(ひろば共催含む) ・中高生事業(計14回開催、延べ47名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計14回開催、延べ9名参加) <p>＜親子ひろば＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子の交流の場の提供と促進(計237回開催、延べ3219名参加) ・子育て等の相談・援助の実施(計102回開催、延べ697名参加) ・地域子育て関連の情報の提供(計33回開催、延べ587名参加) ・子育て・子育て支援に関する講習等(計38回開催、延べ404名参加) <p>※別紙:事業評価表 参照</p>	<p>仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点</p>	<p>仕様書以上 13点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書の事業をすべて目標目標回数以上行い、適正に実施した。 ・地域と連携を図り、事業を行っている。 <p>＜笠原児童館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児クラブ、小学生クラブ共クラブの内容を見直しながら魅力的なクラブになるよう工夫した。その結果、乳幼児クラブも小学生クラブも参加者が昨年より増加した。 ・調理室のある環境を活かした調理事業に力を入れ、多世代間の交流が深められるようにした。 <p>＜親子ひろば＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズを吸い上げつつ、地域を意識した子育て関連の事業を積極的に行った。また利用者の気持ちに寄り添っているからこそ継続利用者に繋がりを、職員と利用者・利用者同士の交流が進んだことで「にじいろ」(母親が主体となって行う活動)の活動に繋がっていった。 	13点
			<p>＜児童館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児と保護者を対象とした事業(計26回開催、延べ245名参加) ・児童を対象とした事業(計31回開催、延べ245名参加) ・地域交流、多世代間交流事業(乳幼児から大人)(計42回開催、延べ624名参加) ・中高生対象事業(計12回開催、延べ40名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計0回開催、延べ0名参加) <p>＜親子ひろば＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自主的な事業(計66回開催、延べ951名参加) <p>※別紙:事業報告書 参照</p>	<p>内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点</p>	<p>例年通り 10点</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の特性を活かした事業を適正に実施した。 <p>＜笠原児童館＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・親子ひろばが併設されている利点を生かし、職員間での連携を深め共催事業や乳幼児親子対象の事業など子育て支援に力を入れ内容にも工夫して取り組んだ。 ・地域との繋がりを大切にし、悠遊塾に参加したり笠原未来プロジェクトの「ふれ愛食堂」に協力した。 <p>＜親子ひろば＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域のお祭り等(祖父母を対象とした)、児童館との共催事業を行った事が、地域や切れ目のない乳幼児親子との交流に繋がった。 ・地域や未だ来館した事無い親子にひろばを理解して頂く貴重な活動となった。 ・利用者の声に傾聴し魅力的な自主事業を積極的に行った。結果、継続利用者に繋がりを、職員と利用者・利用者同士の交流が進んだことで参加困難な父親事業にも影響されている。 	10点	
	(1)施設管理業務の実施状況(10点)	10	<p>屋内・トイレの清掃:毎日 ガラス・備品の清掃:月1~2回 照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。時間を見つければ第2駐車場を含め、児童館周辺の側道まで様子を見てゴミ拾い等を行っている。</p> <p>運動遊具の保守点検及び自動ドアは委託により実施。パソコンは随時点検。</p> <p>非常通報装置・消防用設備については、警備会社に委託により実施。</p> <p>①地下ガス管老朽化破損によるガス漏れの為のガス管交換取り付け工事(53,198円) ②児童館裏の職員駐車場の整地(792円) 以上については、10万円未満であったため、仕様書の定めにより指定管理者の負担で修繕を行った。</p>	<p>①清掃</p> <p>②保守・点検</p> <p>③保安・警備</p> <p>④小規模修繕</p> <p>⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)</p>	<p>①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点</p> <p>②5項目の合計点とする。</p> <p>※駐車場は、期待以上:8点、適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点</p>	<p>適正(普通) 2点</p> <p>適正(普通) 2点</p> <p>適正(普通) 2点</p> <p>適正(普通) 2点</p> <p>適正(普通) 2点</p>	<p>仕様書に定める回数が適正に実施されている。</p> <p>法定点検、日常点検ともに、適正に実施されている。</p> <p>適正に実施されている。</p> <p>修繕箇所が発生した際は、遅滞なく対応がなされている。</p> <p>日常の業務の中で、危険箇所を把握し、適正に対応されている。</p>	10点

2	施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	①文書管理		文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。	11点	
			②環境への配慮	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつけ、使用していない電化製品のプラグは抜き、スイッチをこまめに確認するようにしている。夏は冷房の設定温度を28度に設定、プール遊びで残った水を打ち水にし、暑さ対策にする高窓を開け風通しを良くする他ゴーヤ等の植物によるグリーンカーテンを作った。冬は床にマットをひくなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 紙はリサイクル紙を利用し関係者機関への連絡はメールを利用。又祭のブースや工作ランドなどの工作事業では、ペットボトルやガチャガチャのケース、ラップの芯といった廃材や古新聞などを活用し廃材が魅力的な物や利用価値のあるものになる事を体験を通して教えている。 ・「ダンボールコンポスト」の利用 ダンボールコンポストを利用し、野菜を育てている。 ・「ゴミの分別」 クラブや地域共催の調理事業時などでは、ゴミの分別を呼びかけ残菜が残らないように声をかけている。 ・「ダンボールコンポストを利用した野菜の栽培」 地域の園芸福祉協議会の方にご指導・ご協力を頂きながら季節の花を植え玉ねぎやジャガイモ、イチゴ等の野菜を育てている。子ども達と共に世話をし、できた野菜をクラブや調理事業に使用。食育の一環となっている。	期待以上 3点		・適正に実施されている。
			③バリアフリー		・玄関に車椅子用のスロープを設置しトイレには手すりがあるが、意味を子ども達に話し意識を高めるようにしている。 ・手すりや机の角には緩衝剤を付け、卓球台はロープで固定、不使用時のコンセントにはカバーを付ける等利用者の安全に配慮している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			④備品管理		備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に管理されている。		
			⑤個人情報保護		特定非営利活動法人ワーカーズコープとして『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
			⑥事故等への対応	0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	クラブが終わった後の自由遊びの時、一輪車にもう一度乗りたくてまたがり、謝って足を車輪に突っ込んで捻挫。受診を勧め接骨院を受診されたが大事にはいかなかった。	事故なし・対応に不備なし 0点		・掲示等により利用者に注意喚起を行い、子どもの見守り等保護者に向けての注意喚起を徹底する。 ・ワーカーズコープとして保険に加入している。
3	当該施設の経営状況 (5点)		①事業収支	5	当該年度の収入÷支出が、 105%以上:5点、105%未満~ 100%:4点、100%未満:3点	収入 13,952,087÷14,547,846≒96% 【笠原児童館】 収入 10,869,702÷支出 10,957,514≒99% 【親子ひろば】 収入 3,082,385÷支出 3,590,332≒86%	100% 未満 3点	3点	
	(1)市民・利用者の声の反映 (15点)		①ニーズの把握・事業への反映	10	期待以上:10~8点、 適正(普通):7~5点、 不備あり:4~1点	<児童館> ・窓口に意見箱を設置するとともに、前期・後期のクラブ終了時や、行事開催後などにアンケートを行いその後の事業内容に活かすようにしている。アンケートの内容を受けリズム遊びや体操を取り入れたり全身を使った遊びを行ったり思い出に残る品を作ったりした事が評価に繋がった。また、直接利用者の方々より感想・意見を聞く場も設けている。 <親子ひろば> ・少子化のため公園や公共施設へ出かけても、なかなか子どもがいないという利用者の声に応え、「わくわくパーク」【出前ひろば】を積極的に実施し地域に向いて複数の異年齢が交流出来る日を設けた。 ・父親の休日(日曜日)にバスホリディを開催し、複数の家族ぐるみの交流は、子ども達にとっても良い影響がある。父親が参加出来ない母子に対しても参加出来る様にした。	期待以上 9点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・親子ひろば利用者の要望に応えるため、本来休所日である日曜日に事業を行った努力は評価できる。	9点
			②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは4点とする	苦情なし。	苦情なし・適正(普通) 4点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	4点

4	より良い施設運営のための取組 (30点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1～3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15 提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が期待以上:15～12点、 適正(普通):11～9点、 普通未満～物足りない:8～0点	<ul style="list-style-type: none"> ・運営委員会で委員の方に教えて頂いた事を踏まえて2階ひろばの非常口のドアの施錠を外す手順を目立つように数字を交えて大きく表記し誰が見ても分かりやすくなった。 ・施設管理に一番重要な人員確保の為に、常時勤務する以外の有資格臨時登録者を完備し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員の出欠に対応できるようにした。 ・NPO法人ワーカーズコープでは、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 (4/28静岡ズウェル・2/17横浜関東学院大学) 9/6～7「全国事業推進会議(東京日本教育会館)」・3/2～3「ワーカーズコープよい仕事集会(東京駒澤大学)」においての子育て分科会のほか、年間全国規模の研究交流会を計10回開催。 ・児童館職員全員参加研修を毎月第4月曜日に開催した。 5/28普通救命救急講習(笠原消防署)をはじめ、児童館ガイドライン・リスクマネジメント・コンプライアンス・集団個別援助・遊戯実技・製作指導・SDGsなど専門性を高める研修 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:児童健全育成推進財団】5/18健全育成専門セミナー・12/16一特厚生員セミナー・2/2健全育成一ターセミナー 【主催:岐阜県児童館連絡協議会】6/1総会研修会・9/25館長研修会・10/30東濃ブロック児童厚生員研修会・11/20東濃地区児童館職員等研修会 【主催:岐阜県恵みの森づくり推進課】2/27ぎふ木育ひろばフォローアップ研修 【主催:岐阜県子育て支援課】2/25児童館改正ガイドライン説明会 	期待以上 14点	<ul style="list-style-type: none"> ・地域行事や会議への職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・全国組織である点を活かし、様々な研修に参加し、それを共有することで職員の資質向上に努めた。 	14点
5	その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0 提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、 一部遅れ・不備あり(中程度):△2、 一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
		(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0 指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、 対応等が期待以下(軽微):△1、 対応等が期待以下(中程度):△2、 対応等が期待以下(それ以下):△3	指示は特になし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下	/		全体的な評価 ・概ね良好な管理がなされている。 ・児童館とひろばが併設されている利点を活用しており、地域との連携も評価できる。	80点 良好